

<新年号>

ねじりはちまき



謹んで新年のお祝詞を申し上げます。

皆様にはお揃いで良い年を迎えたことと、お慶び申し上げます。
旧年中は皆様には格別の御指導御鞭撻を頂きまして、誠にありがとうございます。厚く
御礼を申し上げます。

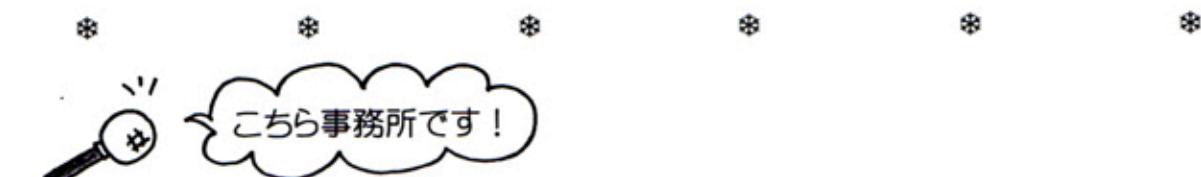
今年も相変わらず、よろしくお願ひ申し上げます。

今年は丙申年ですね。

申は神の形象です。丙は太陽の恵です。こうした星の組合せが順当に作用すれば、自然界はいたって穏やかで実りが多い1年となりますね。
しかし、丙申年は昔から火事が多いといわれています。
それに、世界的な天候異変と異常気象に悩まされています。
丙申年は、そうしたことが激しいようだといわれています。
よくよく注意をしながら、この1年を良い年にしたいですね。

今、大寒の候です。お風邪など引受けないよう、お祈りいたします。

幸田 常一



お世話になっております。

現在は本宮市の現場を2件お世話になっていて、どちらも新築工事の現場です。1件は今年の春完成予定です。もう1件は先日工事を開始させていただいたばかりです。

ガンタン/ケイ

幸田建設の社報を愛読の皆様方には、ご家族お揃いで素晴らしい新年を迎えたことと推察いたし、衷心からお慶び申し上げます。

お陰様で私共も、揃って元気に新年を迎えることができました。

昔から1年の計は元旦にあるといわれておりますが、それぞれ皆様方も素晴らしい計画を立てられ、計画の実現に1歩を踏み出されておられるものと拝察いたします。

私共家庭は、私が本年85歳、家内が80歳になりますが、頭の方が2人で1人前、ただし足腰は2人で1.5人前になるのではと自負しております。

そこで1年の計ということになりますが、夫婦共通の趣味である

- ① 家庭菜園で良質の野菜を育てること。
- ② 山岳愛好会の山行計画に全て参加すること。
- ③ 社会の皆様に迷惑をかけずに生活して、出来得れば少しでも世間の皆様方のお役に立てる。

としました。この計画を達成するためには、丈夫な身体が基本になりますが、丈夫な身体を維持するための努力が肝心。心身を丈夫にするためには、

- ① バランスの良い食事。
- ② 適度な運動。
- ③ 適切な休養(睡眠)。

が大切、と何かの本に書いてありました。更にこの3つの項目を継続することも肝心であるとも。特に高齢者は、日常的に身体を使うことが必要といわれています。(摂取カロリーと消費カロリーの適度なバランスの確保)。幸いにして私は体を動かすことが大好き。体を動かすことを考えると、まず家庭菜園での野菜の栽培には、一切機械を使用せずに私がスコップと鍬を使って耕しております。

(家内は私のことを、自動耕耘機といっている。)。また春は山菜採りに、秋にはキノコ狩り、毎日の散歩の実施(1日2万歩の目標は、H27年分は達成)。

私は山岳愛好会の月例山行にも参加させていただきますが、山にはタクシーも来てくれません。お医者様もおりません。山ではすべて自己責任。会員の皆様にご迷惑をかけぬように、日頃から足腰を丈夫にすることが大事です。

室町時代の僧、一休さんの作とされる「門松は冥土の旅の一里塚 めでたくもあり めでたくもない」とあります。また、「光陰矢の如し」ともいわれてもいます。歳を重ねるとまさに時の経つのが早く感じられます。最近はまるで口ケットに乗つて旅をしているように思えてなりません。しかし、立てた計画がすべて実現できるよう本年も頑張る心算です。皆様方の計画も100%叶えられますようにと祈念して新年の挨拶といたします。

動物の不思議

動物についていくつか触れてみたい。猿と人間は遺伝子の面からみると90%以上が共通というか同じであるというのはご存知だろうか。猿と人間は普通異なると思っているが、意外やである。それは単なる能力のみではなく、生物として進化の過程も含めて、感情を有する共通点といったことから窺えるかと思う。つまり何を言いたいかというと、親子関係、子育てにみる家族愛ひとつとっても哺乳類を始め動物も人間も変わらぬ共通項があるということだ。親は子に愛情を注ぎつつ、独り立ちを促す厳しさも併せ持つ。子育ては雄雌双方の親で受け持つののが普通だが、雌の親のみ（ホッキョクグマ）で受け持ったり、雄の親のみ（ヒクイドリ）で受け持ったりするのもある。雌雄の一方のみで受け持つのには、不公平といって片付けられない、それ相応の理由があつてのことだと思われる。でも不思議ではある。卵を抱いて孵化をひたすら待つ深い愛、誕生したばかりの子をなめてやる慈しみ、餌を休みなく運ぶその献身的な尽力、毛繕いをしてやるやさしい眼差し、訓練・見守りをしながら独り立ちを促す厳しさを伴った愛、天敵から子を守る強さ、それらを見ていると親の子に対する愛情というのは人間と変わらぬものがあると言えよう。人間の方が虐待などの例に見られるように歪んでいるかも知れない。鮭・鮎のように産卵すると命を果てる魚もいるというのに。それと、愛情のような感情の側面ばかりでなく、動物同士のコミュニケーションは実際どうなのだろうか。群れを成せば統率を図るうえでボス（リーダー）の存在が必要であり、コミュニケーションの手段が不可欠だ。猿（ゲラダヒヒ）の世界では、ミシガン大学の研究によれば、30の言語を話すことが確認されているというのである。人間以外では最多のようだ。もちろん人間のような言語ではないが、表情や声の発声、ジェスチャーによって意思を表しているのだ。威嚇（無駄な争いを避けるサイン）や謝罪などお互いに通じ合うものとなっている。猿以外の動物でも哺乳類なら集団生活を営めば、自ずと何らかの形でコミュニケーション・ツールを持っていると思われるがいかがか。人間が知らないだけで。例えば、象の群れは餌（草や水）を求めて広範囲に移動しているが、その場合雄のリーダーは何らかの形で行動の指示を発していると思わざるを得ない。余談だが、像が河川水以外に砂地で水のありかを掘り当てて水を補給した後は、他の動物たちがその水の恩恵に浴している光景は何とも微笑ましい共存の一風景である。また、アリの世界でもあれだけの数で力を合わせて餌の運搬など共同作業を展開するからにはこれも統一行動のためのコミュニケーションが採られているのではないか。この他にも群れを成して行動する動物はその生態をよくよく観察すれば思い当たるものに出くわすのではないか。例えば野鳥は繁殖期になると雌と雄が求愛の行動をとるが、これも単なる本能の為せる業以外の要素があるようと思われる。雌をめぐる雄同士の争いもあるが、雌が雄を選択する、或は同意するまでには雌雄の間で数々のコミュニケーションが採られていると見るのがごく自然のことではなかろうか。現代では、ペットが数多く飼われ、家族の一員になっているように見受けられるが、その場合人間とペットの間では、躾を始め何らかの形でコミュニケーションが交わされているに違いない。小生宅ではペットは飼っていないので経験的なことは言えないが、かつて農家で家畜を飼っていたのを間近にしていたので、飼い主と家畜の気持ちが通じ合うその雰囲気はわかっているつもりである。ペットと家畜の話が出たが、それと共通する話で「ラオス象」ことについて触れたい。ラオス象は、今は野生の数が減少して保護対象になっているとのこと。そのラオス象には幼少の頃から親しんでいる「象使い」がいる。従って両者の間の信頼関係は非常に強い。ラオス象は象使いの言うことは良く聞く。象使いはコトバによって指示するのだが、そのコトバを解して指示通りに行動するのだ。そもそも象は記憶力がとてもいいのだそうだ。野生でも一度通った道は覚えているというし、一度見た人間の顔は覚えて警戒しないのだそうだ。哺乳類は皆そうなのかも知れない。でも「蛇（コブラ）使い」の場合は蛇（コブラ）との信

頼関係があるのだろうか。それとも蛇の特性をよくよく理解しての技法なのだろうか。その辺はよくわからないが、興味は尽きないものがある。

次の話に移ろう。人間は自然から多くのものを学び取ってきている。特に、人間にはない動物のもつ能力から学び取って発明発見に繋げているものも多々ある。先ず、動物のもつ優れた能力について触れてみたい。つまり、「問題解決の能力」は人間だけがもっているものではないということだ。その動物が持つ本能といって片付けるわけにはいかない性格のものだ。もちろん、その能力のレベル差についての意見はあると思うが。「問題解決の能力」といえば、一つは「餌の確保」の仕方が挙げられる。例えば、靈長類のチンパンジーは道具（アリの巣穴からアリを取り出す時など）を使うことはよく知られているが、カレドニアカラスも木の穴から餌（幼虫）を取り出す時道具（葉柄を加工）を使うというのだ。その能力はカレドニアカラス仲間で共有され、またその子たちに教え、継承されていく。カレドニアカラス世界の一種の文化であるといえる。また、この「問題解決の能力」は応用能力が發揮されるというのである。人間が仕掛けた実験によれば、簡に水を半分くらい入れ、餌を浮かせておくと、その餌を探るためにカレドニアカラスはなんと周りの「石」を口にくわえて簡に投げ入れ、水位を上げて遂にその餌を手にいれたというのである。これはほんの一つの例だが、それぞれの動物には変化する環境に適応して生きるために、「問題解決の能力（学習能力）」が備わっているといえるのではなかろうか。そうでなければ今日見るような多様性をもった動物世界は出現していないと思うが、いかがだろうか。考えてみるとこれは人間も含めてのことだ。

また、人間の発明に係る科学技術が「動物の能力」に学んだ例をみてみたい。鳥の飛翔からは航空機、ミノムシからは冷暖房機、コウモリの超音波からは音波探知機、虫の音からは楽器、魚の遊泳からは船舶など動物の持つ能力から学び取って「人間の技術」としたものであり、ご承知の方も多いと思う。また、最近の技術開発の動きからみると、ヤモリの足裏から新型の接着テープ、フクロウの羽（仕組み）でパンダグラフの騒音解消、ガの複眼で無反射フィルム、ホタルの光でケミカルライト、魚の群れのようにぶつからない車の開発などまだまだ学ぶことは多いようである。自然から学ぶ姿勢の研究者が発明発見の機会（宝）を多く得られると言つていいかも知れない。それほど無限性・多様性に満ちている。今回は「動物の不思議」と題したが、これは不思議でも何でもなく、人間が知らないだけなのだ。それにしても人間は動物の生態系にさらにどれだけ近づけるものだろうか。

余談になるが、昔話とか童話には動物がよく登場する。今様の絵本にも動物ものがある。動物が主役の物語もあるが、動物が人間と対等の役を演ずる物語もある。昔話だと金太郎、桃太郎、浦島太郎などあるが、これらの物語に動物たちが登場し、人間とともにそれぞれの役を演ずる。それが全く違和感を覚えないものである。不思議と言えば不思議である。何故このような物語を考えたのだろうか。それは動物を人間と「共に生きる関係」と捉えていたのかも知れない。昔は現代より自然と共生する関係が濃密であったが故に、意識しなくてもまさしく自然に人間と動物の物語は展開していったのであろうと思う。

新年あけましておめでとうございます。
昨年中のお力添えに感謝申し上げます。

昨年11月に60歳を迎えることができました。
長くもあり、短くもあり、紆余曲折あって、その結果今があって。
色々な人と関わりあって反省したり、笑ったり、黙したり。
これからもまた、とどまらぬ時の流れに、自分に都合のいい言い訳をつけながら…
いやいや、楽しく楽しく前向きに。

本年も何卒、お引立ての程よろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役 幸田一二

* * * * *

明けましておめでとうございます。

仕事に復帰して1年になります。
まだまだ頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

渡辺 和次

✿ ✿ ✿ ✿ ✿

明けましておめでとうございます。

昨年はなにかとお世話になりました、ありがとうございました。
お陰様で良き新年を迎えることができました。
本年も昨年同様頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

国 分 務

明けましておめでとうございます。
昨年は新築住宅工事やリフォーム工事と、沢山の仕事をさせていただき
ありがとうございました。
現場管理の仕事をしていますが、なかなか細かい所まで気が回らなく、
打合せ不足などもあり、反省が多かった年だったと思います。
今年は生まれ年の申です。
気を引き締めて仕事をし、資格を取得するよう勉強していきたいと思います。
今年もよろしくお願ひいたします。

渡辺正勝

.....

昨年もお世話になりました。
年々、1年があっという間に終わってしまうように感じます。
昨年も引き続き、除染作業をしていましたので、あまり皆様には
お会いできないので、さみしく感じております。

住宅の除染作業もいよいよ追い込みとなり、今年一杯を目標に
皆で頑張っているところです。
その後、道路や山林等はどうになるかはまだわかりませんが、
より早い作業終了を目指して努力したいと思います。

本年もよろしくお願ひいたします。

鈴木 信義

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

新年あけましておめでとうございます。
昨年は皆様方には大変お世話になりました。
昨年入社したばかりの新人なので、今年も皆様方にはご迷惑をおかけいたします
が、どうぞ今年もよろしくお願ひいたします。

武田 大空(^^)

明けましておめでとうございます。(*^_^*)
昨年も周りの方々からご指導をいただき、大変勉強になりました。
ありがとうございました。

木造から鉄骨造と幅広く仕事をさせていただきました。
設計管理する建物の構造が変わったときに、頭の中での切り替えがスムーズに
できず、設計管理の仕事の難しさを痛感いたしました。
そんな中お客様のお宅に伺うと、犬や猫を飼っている方が多く、私は動物が
好きなのでなでさせてもらったりしています。心が癒されますね。
会社でもコロという犬を飼っていて、現場から事務所に戻って来ると車の音に
気が付き、犬小屋から出て来てくれるのですが、近頃は気が付かないことが多い。
年を取ったんだなあ…と思います。
これから、冬本番を迎えると寒くなっていますので、体調を崩さないよう
暖かくしてお過ごし下さい。
今年もよろしくお願ひいたします。

佐藤 美穂

♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡

自社に入社し、今年の4月で7年になります。
今年の目標は「資格取得」です。
今は電動工具を使用するにあたって、資格がほしい時代になりました。
ですから、勉強に仕事に力を入れていきたいと思います。
本年もよろしくお願ひいたします。

渡辺 正吾



明けましておめでとうございます。
昨年は新メンバーも加わり、にぎやかになりました。
若い人たちの力を借りながら、今年も頑張ってまいります。
毎年同じようなことを書いているかも知れませんが、やはり何回も確認をする
ということと、書類関係の整理、管理はとても大切なあということです。
いつの間にか書類が積み重なっていたりするので、とにかく今年は常に整理整頓
を心がけようと思っています。
本年もよろしくお願い申し上げます。

幸田 久美

平成28年 1月5日発行
有限会社幸田建設
<発行責任者>幸田久美
〒969-1204
本宮市糠沢字八幡1番地1
電話、0243-44-3816

(後記)

新しい年って気持ちがいいですね。
7日は仕事始めです。気持ちを引き締めて
いきたいと思います。今年もよろしく
お願いいたします。

事務員k(^_^)

良い1年でありますようお祈り申し上げます。
今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

